

第五次千葉県障害者計画策定に係る入所・地域移行等ワーキングチーム担当分野に関する骨子（案）作成に向けて、これまでの委員から上げられた意見を基に整理した事項等

※ □内は、「国の障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」（第４期障害福祉計画関係）の項目。（関係項目抜粋）

I 主要な施策（総合計画）

1 入所施設から地域生活への移行の推進

- (1) グループホームの整備促進・質的向上 ③
- (2) 入所施設の有する人的資源や機能の活用
- (3) 地域生活を推進するための在宅サービスの充実
- (4) 重度・重複障害者等の地域生活移行の推進 ③
- (5) 県立施設の機能強化

第一 障害福祉サービス及び相談支援の提供体制の確保に関する基本的事項

二 障害福祉サービスの提供体制の確保に関する基本的な考え方

- ① 全国で必要とされる訪問系サービスの保障
- ② 希望する障害者等への日中活動系サービスの保障
- ③ グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備

第二 障害福祉サービス、相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業提供体制の確保に係る目標

- ① 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- ② 地域生活支援拠点等の整備

第三 障害福祉計画の作成に関する事項

**三 都道府県障害福祉計画の作成に関する事項
別表第三**

【定めなければならない事項】

- ① 障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る目標 →『相談（一部）』
- ② 指定障害福祉サービス、指定地域相談支援又は 指定計画相談支援の種類ごとの必要な量の見込みに関する事項 →『相談（一部）』
- ③ 指定障害者支援施設の必要入所定員総数
- ④ 地域生活支援事業の種類ごとの実施に関する事項

【定めるよう努めなければならない事項】→「相談（一部）」

- ① 指定障害福祉サービス、指定地域相談支援又は指定計画相談支援の種類ごとの必要な見込量の確保のための方策
- ② 指定障害福祉サービス等に従事する者の確保又は資質の向上

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

- (1) 重度心身障害者（児）医療費助成制度の現物給付化の早期実現 ③

- (2) 地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進 ⑤
- (3) 通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進 ⑤
- (4) 障害のある子どもの在宅支援機能の強化 ⑤ (再掲) →『療育』
- (5) 重度・重複障害者等の地域生活移行の推進 (再掲)
- (6) ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進 ⑤ →『精神』

II その他

1 国の第三次障害者基本計画

(Ⅲ) 分野別施策の基本的方向

- 1. 生活支援【人材の育成と確保・高齢社会等と高齢期にむけた支援】
 - 人材、高齢化関係
- 2. 保健・医療【保健と医療に関する支援】 ※精神保健 →『精神』
 - 難病、疾病、歯科等
- 3. 教育、文化芸術活動・スポーツ等【スポーツと文化活動に関する支援】
 - 文化芸術活動、スポーツ等の振興 ※教育 →『療育』
- 4. 雇用・就業、経済的自立の支援 →『就労』
- 5. 生活環境【すまいとまちづくりに関する支援】
 - 住宅の確保、バリアフリー
- 6. 情報アクセシビリティ →『権利擁護』
- 7. 安全・安心【くらしの安全・安心に関する支援】
 - 防災、防犯、消費者トラブル
- 8. 差別の解消及び権利擁護の推進 →『権利擁護』
- 9. 行政サービス等における配慮 →『権利擁護』
- 10. 国際協力 →『該当なし』

【定めるよう努めなければならない事項】→「相談（一部）」

- ① 指定福祉サービス又は指定地域相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る医療機関、教育機関、公共職業安定所その他の職業リハビリテーションの措置を実施する機関その他の関係機関との連携

【盛り込むことが望ましい事項】

- ① 都道府県障害福祉計画の基本的理念等
- ② 区域の設定
- ③ 県域単位を標準とした指定障害福祉サービスの見通し及び計画的な基盤整備の方策
- ④ 都道府県障害福祉計画の期間
- ⑤ 都道府県障害福祉計画の達成状況の点検及び評価

(Ⅳ) 推進体制

- 1. 連携・協力の確報
- 2. 広報・啓発活動の推進
- 3. 進捗状況の管理及び評価